



小栗キャップの News Letter

税理士法人オグリ 代表社員・税理士 小栗 悟

岐阜本部 〒500-8847 岐阜県岐阜市金宝町1-3 岐阜第一生命ビル4F

TEL: 058-264-8858 FAX: 058-264-8708

名古屋本部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内一丁目16-15 名古屋フコク生命ビル6F

TEL: 052-222-1600 FAX: 052-222-1611

Email: info@otc-oguri.com <http://www.otc-oguri.com>

2016年8月10日(水)

経営ビジョンの要件

経営ビジョンは、企業にとって、社員とその他のステークホルダーにとって、重要な意義をもっており、そのためにいくつかの要件を満たすものでなければなりません。

経営ビジョンの要件とは

経営ビジョンが具備すべき要件は次の2点です。

1. 自企業の社会の発展に貢献する事業領域・長期的目標と創造的な取り組み方が“経営者の思い”として単純明快で、分かりやすく表現されていること。
2. そのビジョンの実現は、同時にステークホルダーのメリットや社員の処遇向上につながる約束がされていること。

すなわち、1と2によって、企業の業績向上と社員をはじめとするステークホルダーのメリットが同時に期待できる点が重要であり、2つの要件が欠落していたり、曖昧であると様々な問題が生じます。

経営ビジョン不在・要件欠落の害

経営ビジョンが明示されていない企業、または、経営ビジョンはあっても、要件が満たされていない企業では、ビジョンの浸透が図りにくく、次のような経営にとっての害が生じやすいと言えます。

- ① 社員のバイタリティーが生まれにくい。
 - i) 現状維持志向、保守的な意識・行動が生まれやすい。
 - ii) 消極的になり、高い目標に挑戦しようとしにくい。
 - iii) 目標達成意欲が低く、障害を乗り越える力に欠ける。
 - iv) 自らの座標軸を持たず、向上意欲に欠ける。
- ② 株主・金融機関など、ステークホルダーの支持が得られにくい。

経営者の留意点

経営ビジョンの策定と実現にあたって、次の点に留意することが重要です。

- ① 前記の要件1を満たすとともに、要件2について、ビジョン実現に伴う企業とステークホルダーの利益配分の考え方を共有すること。
- ② 業績向上と社員の活躍・貢献に報いて処遇レベルの向上を図ること。
- ③ 経営ビジョンによる経営者の意思表示に止まらず、長期経営計画・中期・年度経営計画で、それらを具現化し、人事処遇制度の改定などにより、具体的に実現努力を行なうこと。



ステークホルダーの
メリットも重要!